

(様式5)

事業所名 グループホームすみか

作成日: 2013年 1月 29日

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	11	職員会議を月2回昼間に実施した。留守番を残して多くの職員が参加することができた。ただし夜勤明けの職員は必要な場合を除き出席しなくても良い事になっている。職員会議の意義が分かり討議された内容が全職員に徹底できようとしているが努力の必要がある。	1.職員会議の意義が分かり、自分の意見が十分述べられる。 2.運営方法を工夫し、職員間の理解を深め介護実践に生かす事が出来る。 3.参加できなかった職員への伝達方法は記録だけではなく口頭も含めて確認する	1.会議参加状況に対する個人評価 2.会議の意義が分かるよう消極的な職員への教育 3.司会、書記は訓練を含めて持ち回りとする 4.会議の内容が伝わっているか記録担当は確認	12ヶ月
2	26	記録に時間がかかること、何箇所かに書くという作業は転記ミスもある。必要な場所に必要ながきちんと記録されていなければならない。記録の方法について研究が必要である。	1.介護に必要な記録の意義が分かる 2.介護の継続性を維持するための記録のポイントが分かる 3.スタッフが共有できるよう文章化が出来る 4.記録物も利用者本人の物という自覚を持つ	1.記録について学習会をもつ 2.書いた物について指導者の意見を聴く 3.「書く」という苦手意識をなくすためレポート課題に取り組む 4.読書を勧める	12ヶ月
3	4	運営推進会議が効果的に運営されていない。年6回の開催は必要ないのではと思う。委員も出席が負担になっている。施設主導ではなく運営委員主導の会議に舵が切れれば良いのではと考えている。オレンジプランの展開に向けても委員協力が重要だと思っている。	1.他職種と地域住民の推進委員への参加 2.情報交換だけでない意義ある会議の運営 3.オレンジプランの理解と、すみかの果たす地域での役割の追求	1.運営委員の増員 2.会議運営の工夫 3.オレンジプランの具体化に向けて学習会	ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目の を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。